

千葉工業同窓会報

平成21年3月1日

第20号

発行 千葉工業同窓会



改修工事が完了した「千工会館」と看板

目次

好日雑感	会長 宮内 潔	2	同窓生多士済々 熟年男の輪	川島 智	14
夢・情熱・挑戦	校長 関谷 守	2	思い出	豊田治司	15
同窓会事務局報告	長嶋孝雄	3	クラス会だより		16
同窓会報基金の報告	小林 昶	3	18Mクラス会、満鉄先生に感謝		
総務委員会活動この一年	佐川 一	4	37M-Bクラス会、美術館見学		
組織委員会活動この一年	高橋正己	4	千葉工業この1年		18
環境整備委員会活動について	山本敏雄	5	・創立記念講演会	・生徒会館改装工事完成	
千葉工チョイナ節	渡辺武雄	5	・ベトナム姉妹校	・文部科学副大臣視察	
レクリエーション委員会の活動報告	深山 傳	6	・定時制サッカー部	・高校生ものづくり	
夾竹桃の坂の上「君待橋」の石碑	渡辺貞雄	8	・ロボット相撲	・インターンシップ	
千工会館に期待する	中務 二	9	・他校で活躍するOB先生	・進路状況	
喜寿の祝いを拝賀して	原 朗	10	校歌三様	住田敏和	22
恩師のニックネーム	山田俊雄	11	「スーパー竹とんぼ教室」案内		23
団塊の世代よ、同窓会を!	立川嘉宣	11	「同窓祭」開催ご案内		24
新支部長の抱負	住田敏和、大野繁樹	12	編集後記		24

好日雑感

千葉工業同窓会長 宮内 潔(32C)



本部副会長や支部役員の経験はあるものの会長職の重みをひしひしと感じております。同窓会活動に携わっている方々から人間には色々な人が居る。同窓生においても批判したり足を引っ張るような人が居るけど、極々一部に過ぎない。気にする事はないと激励して頂いて頑張っております。

我が同窓会は他に冠たる同窓会だと語られております。確かにそうだと誇りに思っております。残念なのは、誇らしげに声高々に話す人のなかに行動が伴ってない上に、己の肩書きばかりに恋々とする人が極一部ですが居る事です。同窓会活動は肩書きでするものではなく、如何に同窓会運営を支え協力するかに尽きると思います。2万人余りの同窓生の皆様に寄与する同窓会活動は仏教用語の「忘己利他」の実践だと思っております。母校の歴史も70年を超えております。他に冠たる同窓会と語られる今の組織同窓会もキックオフをして20年余りの歴史を持っております。少なくとも、歴史を理解された上での活動には自ずから行動が伴ってくると信じております。30年程前、支部同窓会活動の下働きに携わった頃、継続するには先輩風を吹かさないとが前提条件だと話す先輩が居ました。今でも同じような主旨の話しをされる同窓会に思いのある先輩もお心強く思います。先輩が後輩を労り、後輩は先輩を敬う精神が正に他に冠たる同窓会の基本ではないでしょうか。

時は流れ、状況は変わるものです。その時々に対処される心構えを持ち得るのが先達と言われる所以であると信じて疑いません。これからは人間関係が更に見直される時代です。真に同窓会はその人間関係構築に絶好の組織です。同窓生の皆様、今こそ同窓会を有効活用されることを望んでやみません。

夢・情熱・挑戦

千葉工業高等学校 校長 関谷 守



日ごろは、本校の教育活動に際して多大な御支援と御協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

平成20年度は、「夢・情熱・挑戦」のスローガンを掲げ、明るく生き生きとした学校づくりを目指し、職員一丸となって取り組んでまいりました。

まず、5月には、第13代校長渡辺貞雄先生をお招きして創立記念講演会を開催いたしました。本校の歴史と共に歩んだ「君待橋」の石碑のエピソードや「夏季に取敢えて水を控えることにより春に美しい花が咲く」という盆栽づくりの話を通して人生の素晴らしさや努力することの大切さのお話をいただきました。

8月には、待望の生徒会館の改修工事が完了しました。同窓会をはじめ、多くの方々に利用していただくことを期し、これを契機に愛称を「千工会館」と名付けました。

11月には、ベトナムとの国際交流を実施しました。ハノイ工科短期大学との姉妹校協定を結び、工業技術や文化の交流を図るとともに、両国の友好親善などを深めて参りました。

また、この月は、2年生全員対象としたインターンシップを実施いたしました。各企業での貴重な就業体験から、社会人や職業人としての在り方などを学び取ることができました。なお、この事業には同窓会をはじめ、多くの方々の御支援をいただきました。

一方、部活動等では、旋盤技術の部やロボット相撲の部が関東大会で優勝し、千工研総合技術コンクールでも優秀な成績を得ました。定時制では、サッカー一部が県大会で初優勝し、全国大会ベスト8と大活躍をいたしました。

先輩の皆様が構築された伝統を汚さぬよう、また、さらに新しい伝統づくりに邁進します。

結びに、同窓会の益々の御発展と皆様の御多幸を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

千葉工業同窓会事務局報告

千葉工業同窓会は、県下にある9地域支部が本部・支部間の連携をとりながら、母校への助成活動や、会員の親睦を深めるため、それぞれ意欲的な活動をしています。

平成20年度の本部事務局の主な活動を紹介します。

- 4月 6日 : 第23回同窓祭、第7回竹とんぼ教室
- 8日 : 入学式
- 13日 : 外房支部総会
- 19日 : 千葉市西支部総会
- 5月 11日 : 京葉支部総会
- 14日 : 常任幹事会
- 19日 : 同窓会幹事会
- 25日 : 市原市支部総会
- 6月 1日 : 北総支部総会
- 8日 : 東葛支部総会
- 18日 : 三役会
- 22日 : 千葉市東支部総会
- 7月 13日 : 千葉市中支部総会、三役会
- 8月 5日 : 千工会館改修工事完成披露式典
- 10日 : 三役会
- 11月 2日 : 千工祭・ミニ集会
- 12~14日 : 就業体験学習(インターンシップ)
- 22日 : 千葉市3支部創立15周年、三役会
- 12月 12日 : 同窓祭実行委員会
- 1月 14日 : 支部長懇談会、三役会
- 25日 : 吹奏楽部OB演奏会
- 3月 8日 : 卒業式
- 15日 : 南総支部総会
- 17日 : 就業体験学習発表会

事務局長
長嶋 孝雄(42E)

平成20年度同窓会予算
収入の部 (単位:円)

科目	金額
繰越金	2,375,160
入会金	784,800
名簿代金	806,600
助成金	3,800,000
繰入金	580,000
負担金	150,000
寄付金	3,000
雑収入	440
合計	8,500,000

支出の部 (単位:円)

科目	金額
名簿作成	1,050,000
文化費	200,000
会議費	550,000
通信費	50,000
教育功労	250,000
行事費	800,000
支部助成	1,200,000
事務費	60,000
会報発行	2,500,000
雑費	20,000
渉外費	1,000,000
予備費	820,000
合計	8,500,000

同窓会報基金の報告と、ご協力依頼

事務局基金担当
小林 昶(36E)

会報発行を円滑に進めるため、会員の皆様に「同窓会報基金」の寄付をお願いしましたところ、今年も多数の方々からご寄付を賜り、誠に有り難うございました。

会報発行資金の一部に充当させていただいております。引き続きご協力をお願いします。

19年度寄付金と20年度繰出金について下記の通りご報告致します。

同窓会報基金特別会計決算報告

収入の部

(単位:円)

支出の部

(単位:円)

科目	金額	記事
繰越金	46,437	前年度繰越金、利息102
寄付金	604,900	18号(18年度寄付金)
寄付金	63,100	18号(19年度寄付金)
合計	714,437	
繰越金	14,437	前年度繰越金、口座残高
寄付金	566,000	19号(19年度寄付金)
寄付金	49,000	19号(20年度寄付金)
合計	629,437	

科目	金額	記事
繰出金	700,000	19年度一般会計へ
繰出金	580,000	20年度一般会計へ

- ① 会報18号基金(19.4.1~20.1.21) : 19年度寄付金 60口 63,100円
- ② 会報19号基金(20.2.22~20.3.31) : 19年度寄付金 451口 566,000円
- ③ 会報19号基金(20.4.1~20.10.27) : 20年度寄付金 33口 49,000円

総務委員会活動この一年

総務委員会
委員長 佐川 一(32C)



春、南総に始まる9支部総会を含め千葉工業同窓会には多くの会合があります。私はこの1年間、一部の同好会の集まり以外の同窓会の行事すべてに参加しました。あらためて、同窓生の皆さん、各支部役員にお礼申し上げます。

活動の内容はこの同窓会報に、それぞれの委員会からの報告がありますが、なかでも環境整備の活動は注目されています。夏の暑い中、草花の植え込みや雑草の草刈り等大変な作業です。作業後のお弁当を食べながらの懇談も盛り上がりおりました。年に一度の同窓祭も記憶に残りました。遠方の友、近隣の仲間とお互いの近況を語り、最高の楽しみとして胸躍らせるひとときです。同窓祭は、なくてはならない行事として、一人でも多くの仲間が参集出来ることを希望します。

インターンシップは、母校で学ぶ在校生の勤労観・職業観を育てるために平成14年度よりスタートしました。当初は同窓会が受け入れ企業を選ぶ作業に協力してきました。一昨年69名、昨年60名の生徒が参加しましたが、今年は2年生187名が81社での就業体験を行いました。先生方のご努力で、各企業への依頼等が順調に成立して同窓会への要請はありませんでした。

米国発の世界同時不況により、雇用状況が急激に悪化して、リストラ、就職内定取り消し等の問題があります。このような状況の中で、同窓生の求人・求職に少しでも寄与したいと考えています。相談窓口として総務委員会が対応していますのでご利用ください。

支部長懇談会を開催し、本部・支部の活性化を図るために、諸問題を話し合いました。若い会員を積極的に登用すべき等の意見がありました。



組織委員会活動この一年

組織委員会
委員長 高橋正己(32C)



組織委員会発足後一年が経過しようとしています。この間の活動内容についてお知らせします。

- 千葉工業同窓会「会員名簿」製作

5年に一度の千葉工業同窓会「会員名簿」の製作時期が本年に当たります。製作依頼先(株)サラトとの会合を重ね7月には詳細打合せを終了、2009年6月発行に向け作業を進めています。これまでのB5版1段組みから、A4版2段組みに様式が変わります。総会員数も21,068名から約22,400名と増えます。お手元に1冊置かれては如何でしょうか。

又、新しい試みとして支部別千葉工業同窓会「会員名簿」の作成を依頼しました。支部

に於ける会員の勧誘に役立てて頂きたいと各支部に配付を予定しています。

同窓会名簿発行に際しては、個人情報保護法に基づいて適正に運用し、活用してまいります。

- 千葉工業同窓会 会則見直し

平成3年6月30日施行以来、幾度となく追加施行がなされました。今回7年ぶりに内容について見直しを進めています。見直しの内容は未だ通知出来る状況にありませんが、今後更なる検討を重ねご提案をお示ししたいと思います。

以上、組織委員長として同窓会活動の活性化にどのように寄与していくかを念頭に活動しています。よろしくご協力ください。

環境整備委員会活動について

環境整備委員会
委員長 山本敏雄(27C)



1. 環境整備の状況

当委員会がスタートして3年目を迎え、作業用具・植栽用プランター等が整備されました。更に本年は、生徒会館がリフォームされましたのでミーティングや更衣が可能になり作業も容易になりました。

今後はメンバー以外の多くの同窓生の方々のご理解とご協力を得て、管理棟の中庭の植栽整備及び体育館や運動場等の周辺も含め、四季を通して母校の環境整備を支援します。

2. 具体的な活動

年度初めに年間計画を立案して実施して参りました。具体的な活動内容は表の通りであります。

この様な四季折々の季節感を演出する校内花壇は、同窓会活動の一環として顕在化したものとなっています。在校生並びに多くの同窓生の方々に理解して戴き、この活動に参加して戴きますようお願い致します。



時期	参加人員	作業内容	備考
春季植栽 4/27	14名	サフィニア・ベコニア・マリーゴールド植栽作業	4/28 千工研総会 5/8 創立記念日
除草作業 5/18	17	体育館や運動場の周辺除草作業	6/7 PTA総会 6/14 高野連抽選会
夏季植栽 7/10	16	ボンザファンフラワー植栽作業	7/1 求人受付開始
秋期植栽 9/25	16	サルビア植栽作業	9/17 高野連抽選会 11/2 千工祭
除草作業 11/30	15	体育館や運動場の周辺除草作業・中庭にパンジー植栽作業	11/30 部活動の有志と合同
冬季植栽 1/25	23	ストック植栽作業 終了後に反省会を開催	3/8 卒業式

解説・・・千葉工チヨイナ体操

渡辺武雄(30M)

この体操は同窓祭でチヨイナ節を唄いながら行う、超！簡単な健康体操である。

背筋を伸ばし・・・腹式呼吸で・・・
プラス思考・・・を、するだけである。

千葉工には多くの名物先生がおりました。数学のチャボ(石川先生)の口癖は、「3分間暗誦と共通項を括弧でくくれ」であった。

①大事なことは、その都度3分間で覚える！

②共通項を括弧でくくれば、世の中の見えない物も見えてくる！

この教訓で実社会に出てから随分と効率の良い生き方が出来、今でも感謝しています。

太極拳、ヨガ、座禅等々、健康体操などを、共通項を括弧でくくると、3つに集約される。

【調身】背筋を伸ばし、脳と身の細胞を直結させる。【調息】腹式呼吸で、気、血、液を循環させる。【調心】プラス思考で、ストレスを排除し笑顔で感謝する。作り笑いで結構です。

レクリエーション委員会の活動報告

レクリエーション委員会
委員長 深山 傳(38E)



平成 20 年度もゴルフ、麻雀、囲碁、ハイキングと四つの同好会が活動し、各実行委員の皆さんのご支援とご協力によって多数の参加を得て盛大に活動することが出来ました。厚くお礼申し上げます。各同好会の活動内容を、それぞれの実行委員の皆さんからご報告いたします。

○ ゴルフ同好会

第 10 回のコンペは、会場を始めて変更し「真名カントリークラブゲリープレイヤーコース」において平成 20 年 10 月 21 日(火)に開催されました。当日は快晴でかつ無風のゴルフ日和の中、参加者総数 69 名(18 組)と多数の参加を得て、和気あいあいとゴルフプレイを堪能出来ました。

個人戦の成績は、優勝酒井宏さん(36E 市原市支部)、準優勝鈴木麟太郎さん(39E 市原市支部)、3 位篠崎庄一郎さん(25E 千葉市中支部)でありました。団体戦では、個人の優勝・準優勝を擁した市原市支部が優勝し、準優勝は外房支部、3 位は北総支部でありました。

スタートが少し遅かったことからパーティは夜景を見ながらとなりましたが、何か幻想的な雰囲気の中、学生時代の思い出に十分浸ることが出来たようです。

特に印象深いことは、個人優勝の酒井さんが肺癌を克服して、好きなゴルフをいつまでも続けるため好物のタバコを禁煙し、体調管理に万全な注意を払っているとの話を伺いました。皆さんも感服すると共に何か期するものがあつたようです。

ゴルフに参加された皆様のチャリティー募金 2 万円を「社会福祉法人千葉市社会福祉協議会」へ平成 20 年 11 月 25 日に寄付してまいりました。次回の開催場所については、皆さんに好評でありました「真名カントリーク

ラブ」を仮予約済みです。

(ゴルフ同好会事務局長：早野三千男 36E)



○ 麻雀同好会

麻雀同好会は、8 支部 65 名で活動しております。第 13 回麻雀大会を JR 千葉駅前の「麻雀大都」において、平成 20 年 10 月 25 日(日)に 36 名(9 卓)という多数の参加者を得て、日頃の腕前を競い合うと共に親睦を深めることが出来ました。

個人戦の優勝は山田英興さん(37M 北総支部)、準優勝泉崎謙一郎さん(27M 千葉市中支部)、3 位湯浅秀男さん(34M 千葉市西支部)でした。団体戦の優勝は北総支部、準優勝千葉市西支部、3 位千葉市中支部でした。

(麻雀同好会事務局長：小野美喜男 38E)



○ 囲碁同好会

囲碁同好会は、高橋健一(29C)会長始め総勢 48 名で活動しております。大会は年に 4 回で、学校の夏休み期間には在校生との親善大会を

実施しております。今年度も平成 20 年 4 月 15 日、7 月 29 日（親善大会）、10 月 21 日、平成 21 年 1 月 20 日と実施し、通算 26 回を数えております。平成 21 年度も、別表の開催予定のように 4 回の大会を計画しており、通算 30 回にもなります。これからも、一層の親睦・交流を図りたいと思います。

（囲碁同好会実行委員：石井孝司 30E）



○ ハイキング同好会

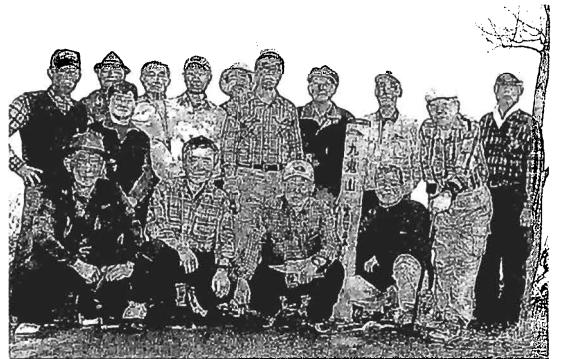
ハイキング同好会は、現在 77 名の会員で年 2 回活動しております。4 月には、名所旧跡の探訪を、12 月には関東周辺の山々のハイキングを実施しております。

春(4 月 10 日)の「流山の利根運河散策」は、生憎の雨にもかかわらず 25 名の参加者が有りました。運河駅を出発し、歩き始める時は雨も上がり、桜吹雪の舞い散る河川敷を散策、江戸川近くの開けた田圃に出ると、野鳥観測用の望遠鏡を持ってこられた吉田東葛支部長(32E)が、あれは子鷺、こちらは中鷺、向こうは青鷺と説明してくださり、童心に返った様で、楽しいひと時でした。

12 月 4 日には、山梨県の「九鬼山」登山を 16 名の参加者で実施しました。午前 6 時 25 分マイクロバスで千葉を出発し、快晴の中、首都高から中央道と進み大月 IC で一般道に降り、富士吉田方面へと向かうと、「桂川・大月橋」と書かれた標識がある、京都の嵯峨野

と間違えそうな地名である。間もなく登山口の「落合橋」に着く、ストレッチをし身支度を整え、早速、杉山林道コースを登る。九鬼山山頂へは 2 時間ほどで登った。この山頂の真下にリニアモーターカー実験線が走っている。頂上で昼食の弁当を食べ、下りは愛宕神社経由で落合橋まで下山しました。

平成 21 年度も 2 回の行事を予定しております。ハイキングに参加ご希望の方はご連絡ください。(ハイキング同好会世話人代表：関口昌利 30M TEL043-227-1507)



平成21年度 同好会開催予定

同好会	開催日時	会場
ゴルフ	21.10.13	真名CC ケーリープレイヤーコース
麻雀	21.10.下旬	麻雀大都
囲碁	21.4.21	西千葉囲碁センター
	21.7.28	
	21.10.20	
	22.1.19	
ハイキング	21.4.11	本佐倉城址
	21.12.6	筑波山

夾竹桃の坂の上「君待橋」の石碑

第13代校長 渡辺 貞雄

私が千葉工業高校の先生になったのは、昭和38年の6月のことでした。当時、私は会社に勤務しております、ある日、会社の昼休みに直接、千葉工業に電話をして校長先生に「先生になりたい」と、お願いしたのです。学期の途中ですし、教員免許も無くて、教育委員会の試験も受けていなかったのに、乱暴なことをしたのですが、当然断られると思っていたところ、「明日会いましょう」と言ってもらいました。そして、翌日に津田沼に行ったのです。少し早すぎたので、時間をつぶすつもりで、校門を入った通路の先に松林があったので、そこに座り込んでいました。そうしたら、50cm くらいの石碑があったのです。「君待橋」と書いてありました。変なところにロマンチックな石碑があるなど、不思議に思いましたが、この君というのは、俺のことなのかな、俺を待っていたのかと、感激をしたものです。そして、廻りを見てみましたが、川があるわけではありません。非常に殺風景な場所に「君待橋」と、実に不釣り合いなものでした。その日から毎日、その石碑と顔を合わせるようになりました。

その頃、移転の話があって、生実の校舎が出来て、先生と生徒で荷物を津田沼から生実に運んだのです。引っ越しが済んで、気がついたら坂の上に「君待橋」の石碑が、ずっと建っているのです。これには、本当にびっくりしました。津田沼の松林の中にあったのは、何かの記念碑で、千葉工業とは関係が無いと思っていたのです。

それで、この石碑について調べてみました。千葉工業は昭和11年に千葉市の中央を流れる都川の下流の寒川という場所に創立されました。学校の近くに小さな支流があって、そ

この橋のたもとに「君待橋」の石碑が建っていたのです。やがて、火災があって新検見川に移転した時に、誰かが「君待橋」の石碑と一緒に持って行ったのです。そして、戦争で燃えて津田沼に引っ越したのですが、石碑も一緒に連れて行って、松林の中にあったわけです。そして、生実に引っ越したのですが、そこにも「君待橋」の石碑が坂の上であって、生徒たちが毎日学校に来るのを待っているような感じでした。誰が運んだのかわかりません。一人や二人では持てないし、簡単には運べないのに、寒川から創立以来ずっと千葉工業と共に歩いてきたのです。



「君待橋」には、源頼朝を待ったとの伝説もありますが、若者たちの恋物語も伝えられているのです。橋の近くに住む娘がある男性を好きになり、どうしても会いたいと、雨の日も風の日も恋人を待ち続けたので「君待橋」と呼ばれたと言います。

平成6年に千葉工業に3度目の赴任をしたわけですが、坂を登ってきたら石碑が無いのです。どうしたのかと思ったら、千葉

市の周年行事があって、寒川に君待公園というのを作るので、返して欲しいという話になったのだそうです。私は、朝夕生徒たちが慣れ親しんだ石碑が無かったので非常に悲しくなっていました。私は石屋さんに行き、その話をしまして複製を作れないかと相談をしたのです。そうしたら「それは良い話だ」ということで、君待公園におさまった現物を模写して作ってくれました。技術はすごいもので、寸法も形も字の書体までそっくり同じなのです。材料の石の費用だけで作ってくれたので助かりました。それからは、坂の上で生徒諸君、君たちを待っているのです。

* 創立記念講演会(08.5.8)のお話のうち「君待橋」の部分を、まとめました。

千工会館に期待する

中務 二 (23E)



この度、母校の生徒会館改修工事を我が社(中務工務店)で請け負うことが出来ました。誠に光栄なことであります。昭和46年8月に落成し、部活動や合宿の宿泊等で利用されてきましたが、築37年も経過している建物ですので、半ば不安のなか平成20年6月4日に着工しました。

建物の大きさは、2階建てで延べ141坪、主な軸組みは軽量鉄骨造、内外装は木造です。外部は手をつけず、内装は木柱だけを残し殆んど取り壊し、新しく内装を施工です。何分、40年近く経過しているのです、木材がかなり腐食している。まるで「お化け屋敷」のように荒れ放題でした。働く職人たちは、足元に十分に注意を払い、また、ほこりにまみれながらも嫌がらずに仕事に励みました。

1階の床を解体したところ、親指大の糞があちこちに散乱していました。学校の用務員さんの話によれば、狸に似て額に明瞭な白い縦斑がある「白鼻心(ハクビシ)」らしき中型獣が出入りしていたようです。おそらく1階の床下の破損した換気孔から忍び込み、長い間住んでしまったと思われます。

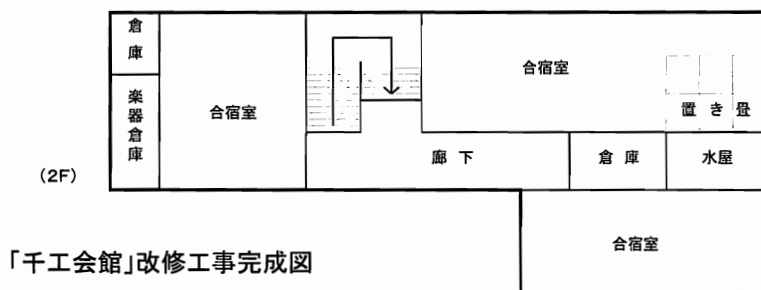
また、工事中に不思議なことを発見しました。1階炊事場の天井の片隅から、雨漏りがしていることに気づき、屋根を調べてみました。すると、縦の雨樋10cmの内側に「あけび」の幹が数本下から這い上がっているのです。外から見て分からなかった雨漏りの原因が雨樋の詰まりだったので

すが、あけびの実まで出来ていたのにはびっくりしました。

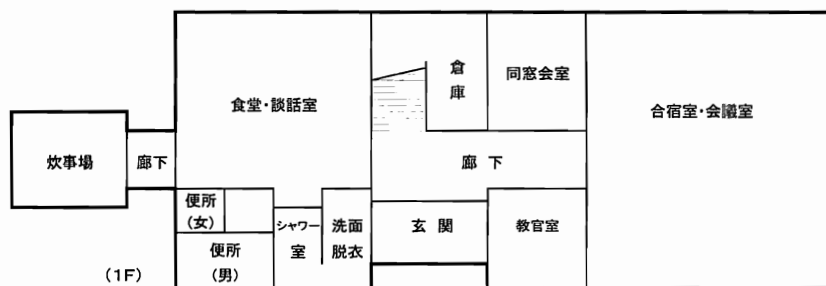
工事も順調に進み、7月30日には全工程を終了し、完成引継ぎをして8月5日には改修工事完成披露式典を行う事が出来ました。まるで、一流ホテル並み、我ながら嬉しく胸の鼓動を感じながら満足感を味わうことが出来ました。部屋は全室が、冷暖房、テレビ付きで食堂兼談話室には、大型スクリーンのテレビが備えられています。またトイレ便器はウォシュレット付き、シャワー室もきれいに完備されました。

部屋数は、1階に同窓会室、合宿室兼会議室、教官室、食堂兼談話室、2階には合宿室3室、そのうち1室は茶室続きに畳敷の座敷を設けてあります。そこに私の趣味であります水墨画を寄贈させて戴きました。筆を持つて書くことは老後のためにもと思い、61歳から2年間NHK学園で学びました。

従来の生徒会館が素晴らしく生まれ変わり、この改修工事を機会に、生徒だけではなく同窓会にも活用出来るよう「千工会館」と呼ぶことになりました。まさに「高級ホテル千工会館」です。同窓生の皆様方には是非ともお揃いでお出かけされたら如何でしょうか。



「千工会館」改修工事完成図



同窓祭報告

喜寿の祝いを拝賀して

原 朗(25E)

桜花満開の4月6日、懐かしい母校の同窓会に出席し、旧友と再会し、楽しい交流の時をもたせていただいた。今回、同窓会出席者の中から77歳をむかえた私のほか6名が、長寿を祝っていただく栄誉をよくした。高校卒業が1950年(昭和25年)なので、すでに58年の歳月が経過した。

出席者約350名を前にして、お祝いの品をいただき、ひと言ずつの挨拶をした。突然のことで、つい頭にひらめいた「長生きしてすみません。世の中、“お国のために早く死ぬ”という意味の言葉を耳にする時代です」とと弁解がましいことを言ってしまった。「いや、そんなことはない」という声も聞こえてホッとした。高齢化時代を迎え、年金暮らしの無為徒食の現在の私が、前年秋には病气入院したが、手厚い看護を受け、この国に生きる幸せを思った。でも、多勢が長生きすることは、地球温暖化に加担し、若者たちのお世話になる負担を思っただけのコメントだった。

帰宅して、お祝いの品の本、「忘れかけていた大切なこと」(渡辺和子、PHP文庫)を、早速読んでみた。この本は、ここ数年に読んだ中で、私にとり最も感動する内容のエッセイ集だった。人生のあり方、生き方の指針になる。まとめ買いして兄弟・友人・知人などに、誕生日に喜寿の記念として贈ることにした。

その本の「かけがえのないオンリーワン」(125ページ)には、「人間は、存在を他人に祝福されていなければ生きてゆけない」と、書かれている。「あなたは必要な人です」「生きていていいのですよ」と励ましの言葉に勇気づけられた。

卒業後、電気科に学んだおかげでNTTとその関連会社に延べ46年3ヶ月働いたご褒

美がこの余生の幸せと思い喜んでいる。ならば、これからは健康にさらに気をつけて米寿を目標に生きようと決意した。



左から5人目が筆者

各地域支部の代表者名と連絡先

	地 域		
	代表者名	卒年科	電話番号
南 総	君津地域4市・安房郡市		
	根本忠永	31E	0438-63-2101
北 総	成田、佐倉、四街道、八街、印西、香取		
	早尾 茂	26E	043-422-8825
市原市	市原市全域		
	大野 繁樹	36M	0436-74-5753
千葉市・中	中央区全域		
	岡本保彦	33C	043-232-8903
千葉市・東	若葉区、緑区		
	嶋村英男	30E	043-252-2013
千葉市・西	美浜区、花見川区、稲毛区		
	石井孝司	30E	043-241-2526
外 房	東金、山武、大網、茂原、長生、夷隅、勝浦		
	住田 敏和	31E	0475-73-4558
京 葉	船橋、習志野、鎌ヶ谷、八千代		
	渡辺武雄	30M	047-483-6859
東 葛	市川、浦安、松戸、柏、我孫子、野田、県外		
	吉田勝彦	32E	04-7191-0232

原稿・情報を、お待ちしております。

多くの皆さんの声を掲載して、身近な同窓会報を目指します。ご意見・提案、情報を事務局・編集委員までお知らせ願います。

広報編集委員会

恩師のニックネーム

山田俊雄(28E)



小説「坊ちゃん」に登場する教師のニックネームは主人公の坊ちゃん自身が名付け親だが、母校の教師の場合には観察眼の鋭い生徒の仕業であろう。恩師には現役に復帰し

ていただいて早速ご登場願います。

オケラ；第2代校長北村丘先生。失礼だが実に適切なあだ名である。革製のサンダルで飄々と歩く姿が懐かしい。(母校の在職期間 s13~28、以下同じ)

番犬；秋山豊教頭、校則違反者の監視役、長髪や下駄履きの登校をきびしく取り締まっていた。犬がオレのゲタをくわえていったと嘆く生徒がいた。(s16~31)

デケサン；電気科の三川時郎科長、どこの出身か分からないが、「できる」がなまって「できる」を連発したことから。(s17~39)

ヨカレン；電気科の阿部忠夫先生、予科練くずれの生徒指導、こわい存在。(s23~47)

ヲバサン；電気科の津崎正治先生、鹿児島出身か？言葉のあとに「をば」。(s19~26)

ロボット；電気科の松崎和先生、顔も体つきも角張っていて歩き方は正常歩。(s23~38)

ブタ殺し；機械科の田辺正先生、自動車部、生徒はよく棒でひっぱたかれた。(s23~55)

キウリ；図書館長の成田正男先生、図書館の主がなぜ「きうり」なのだろうか。(s23~46)

チャボ；数学の石川博先生、小柄だが精力的、先生の教科書は要点を書き込んだメモがたくさん挟んであって、ヨレヨレ。(s16~33)

鼻イチゴ；国語の早川濯先生、白いデカイ顔、鼻の頭にアルコール反応が出た？(s20~41)

お化け；化学科の椎原恭己先生、講義はマイペース、生徒のざわつきもお構いなし。時間とともに音もなく入退室する。(s16~46)

本記事の取材にご協力いただいた先輩諸兄に感謝します。ありがとうございました。

団塊の世代よ、同窓会を！

立川嘉宣(40C)



同窓会、クラス会への参加は小中高共に20年以上の間なかった。そんな私が始めて東葛支部の総会に参加した。今回の参加で各支部共に若手の参加、巷間言われている団

塊の世代以降の同窓生の参加が少ないと聞いた。若手の参加がほとんど無いそうである。団塊の世代はここ数年の間に定年を迎える時期である。現役の間は自身の生活が中心で外での活動範囲が狭くなる事は致し方ない。かく言う私も同じで自らお膳立てする事なく、案内があれば都合を合わせて参加している。多勢の人は職場や居住地での行動に限られている事であろう。私は定年後も近隣の老人ホームで働いているので同様である。(趣味の世界となると広範囲に活動している人がいるが)こんな私が呼びかけるのはおこがましいが、ここ数年の間に定年を迎える団塊の同窓生諸兄に同窓会支部へ参加する事をお奨めする。堅苦しく考えず、先輩だ後輩だと言わず気楽な気持ちで参加して欲しい。卒業後色々な経験をしてきた同窓生の話を聞くことが今後の自分の方向性を見出す参考になると思う。定年後何もせず「濡れ落葉」「粗大生ゴミ」等揶揄されない様、行動してみてください。各支部の役員は連絡を待っています。

ここで始めて参加して私が絶句してしまった事を披露します。総会後の懇親会も滞りなく進み、校歌を斉唱する段でビックリである。検見川、津田沼、生実の校歌で、津田沼校舎卒業の私、校歌の記憶が全く無いのである。千工マーチや応援歌は頭の隅に残っているのに、且つブラバンで3年間過ごしたにも拘わらず校歌の記憶が全く蘇らないのである。参加した諸兄の歌声を聞きつつ、必死に頭を巡らせたが一節も出なかった。津田沼校舎40年卒業生はどうなのか、今も思う次第である。

支部長就任ご挨拶

外房支部長 住田敏和 (31E)



昨年春の支部定期総会で外房支部長を拝命致しました。皆様のご指導をよろしくお願い致します。

友人に同窓会の話をする、「つまんねえ事やってんな・・・」と、よく言われます。

「ばか言うな、おめえの学校とは違うんだ」といって説明してやると「へえ、大学の同窓会みたいだな、高校にもそんなに凄いい同窓会あんのか・・・」と、例外なく感心してもらえます。

今日、この様な素晴らしい同窓会があるのは、財団法人千工会の存在も勿論ですが、何よりも、歴代の会長さんを始めとする諸先輩方の情熱と、心血を注いだご努力、母校への限りない愛と、熱い想いが結集した結果ではないでしょうか。外房支部も発足 15 年になりますが、私には、この事を心に刻みつつ、支部をより発展させ、財産を増やし、無事に次の世代へ引き継いで行くという、大切な責任があります。

当支部は南北に長い為に、色々な気配りや配慮が求められますが、役員の方、会員の皆さん方の創意工夫によって、地理的なハンディキャップを乗り越えて行く必要があるでしょう。

「おばあさんの原宿」は、ご存知の巣鴨の「とげぬき地蔵商店街」ですが、世の中に「おじいさんの原宿」は見当たりません。しかし、我々外房支部にもその資格が充分にあると思います。会員の皆さんは勿論、まだ入会されていない皆さんも、この楽しい外房支部に集い合っ、至福の時間を一緒に過ごして行こうではありませんか。

支部長就任の御挨拶

市原市支部長 大野繁樹 (36M)



平成 20 年 5 月 25 日 (日) の支部定期総会において山田前支部長の後を市原市支部長として任命され就任しました 36M の大野繁樹と申します。何分にもこの様な

ポストは不慣れで不安が一杯です。諸先輩方そして会員皆様方の御協力、アドバイスを頂きながら市原市支部の活動、本部の活動、千葉工業高校の行事への参加等微力ではありますが、活動していきたいと思しますので今後共ご支援宜しくお願い致します。

山田前支部長は 9 年にも亙り市原市支部が活性化する様に活動をして頂きましたので、現在何とか他支部に負けない様な活動をしております。これからも会員の皆様方の御協力を頂き維持していきたいと思致します。支部会報「いちはら」を年 2 回発行していますので、会員皆様からの沢山の投稿をお待ちしております。支部の行事として、最近あちこちで盛んになってきておりますグラウンドゴルフも実施しております、気軽にできて、とても楽しいですよ、是非参加して下さい。この他本部主催の行事にも逐次参加を予定しております。現在私が所属しているのは同窓会本部の常任幹事、本部の編集委員、ゴルフ実行委員、環境整備の作業にも参加協力しております。

そして私事ですがスポーツする事が大好きです。今はバレーボール、ゴルフ、グラウンドゴルフ、ワンバウンドバレー等を楽しんでおります。更に競技の短距離を走ります。千葉マスターズに所属しております、県の競技場、国立競技場共に年 2 回づつ走っています。本年は全国スポーツレク

リレーション祭が琵琶湖の滋賀で開催され、千葉県選手団で出場してきました。男女混成の100m×8名のリレーでは第3走者で走り、8名共良く走りバトンリレーもうまくいき2組で千葉チームは2位、全体で8位の成績でした。個人の200mでは思う様に走れませんでした。リレーの写真がとても良い記念になりました。

こんな私ですが、運動するばかりではなく、皆様方の御理解と御協力を頂き乍ら活動を進めていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



支部だより

千葉市3支部が創立15周年

千葉市が政令指定都市になった平成4年の翌年に、すでにあった「千葉市支部」がわかれて、千葉市西支部、千葉市東支部、千葉市中支部の「だんご三兄弟」として活動を始めてから15年が経過しました。

その15周年を記念した「千葉市3支部創立15周年記念祝賀会」が平成20年11月22日(土)「ホテルポートプラザちば」で開催されました。来賓と会員97名が参加して、歴史を振り返り、今後の活性化を目指し、「楽しく元気で長生きしよう」と多くのアトラクションで祝賀できました。



千葉市3支部「日帰り研修旅行」

千葉市の福祉バス(無料)を利用した日帰り研修旅行は、平成20年9月18日(木)に実施し36名が参加しました。館山有料道路の16個のトンネルを通り、野島崎灯台を目指し、房総の歴史と地理を学ぶことが出来ました。帰路の原本家酒菜館での試飲が大変勉強になった方もいました。お土産を手にして千葉市へ戻りました。

京葉支部「ライオン千葉工場」見学

平成20年10月8日、京葉支部行事の一環で、ライオン(株)千葉工場見学会が行われた。市原市支部の地元のこと、同支部にも声をかけて30名の参加となった。

JR八幡宿駅前に集合、迎へのマイクロバスに乗車し工場へ、コンピュータによる自動制御、製造から梱包まで人の手の触れないシステムに感心した。技術屋の目で見ると最大のポイントは、原料に植物を使い再生していることだ。

見学後、駅前で同窓生が経営する居酒屋「鳥勝」に立ち寄り、打ち上げ懇親会を有志で開き、盛り上がりました。



熟年男の輪

川島 智 (36E)

核家族といういかにも正しそうな言葉が横行し、結果として美しき日本の家族愛が消滅して久しい。「隣は何をする人ぞ」も極限に達し誰が住んでいるのかも不明。老人は老後の年金がいくらもらえるかに奔走している。子供のため、孫のために犠牲となる老人の姿は美しいが、食欲にむさぼり生きることは体裁の良いものではない。同居を進めることで子供達に老人の智慧が入り、結果として安心して子供を養える環境も整うと考えるが如何だろうか?小生も30歳で独立、サラリーマン生活より離れて会社経営も35年が過ぎた。ふと考え、老後はどんな生き方をしたら良いだろう?特に仕事一筋の猛烈社員にそんな悩みが多いはずだ。

そこで、そんな仲間たちの集団を作る事と相成った。半信半疑ではあったがテーマを作った。名称は5KA会(5万円稼いで5万円を使うという単純な命名)会則らしきものとして下記のようにした。

1. 週3日以上働かない
2. 責任が発生するような仕事はしない
3. 月5万円以上稼がない
4. 稼いだ金を皆で使う(年金は家族へ)
5. おかしなプライドは捨て、お役に立つことは何でもする

以上が5会則である。

断崖(団塊の世代よりも少々高齢で後がない)の仲間と話を持ちかけたところ、実に予想外の60名余りが集まったのである。ほとんどが大手の定年後社員ではあるが、経歴を聞くとびっくりする。小生のチャンネルが京葉コンビナートに多いということも有り、ほとんどがこの地区のメンバーである。当初はただ集まって何かないかということであったが、目線を下げると結構仕

事は有るものだと感じた。全てを申し上げるには、日々が変わるので難しいが、病院の事務管理のお手伝い、6人のメンバーでデイケアセンターのお手伝い、防災メンテナンスのお手伝い、排水処理装置のメンテナンス、コンピュータソフトのお手伝い、街の商店の経理処理のお手伝い、庭の整理、社内報の作成(HP)、楽器の得意なメンバーの慰問等限りない。会社で教育を受け、それなりの知識と行動力を持っている人たちにとっては簡単なことのようにだ。但し、この会には前提がある。個人的な借金は無い事、子供の教育費とか特別の出費が無い事が前提。ボランティアとかNPOとか、我々は綺麗事を言わない。きちんと働き収入を得てそれを使う。

ふと古女房と2人になったとき、何をしても良いか限界を感じる人たち。別に遠くに行く必要なんか無い。こんな身近に素晴らしい大地も商圈もある。大切なのはあくまでもお手伝いなのである。自分のペースで出来、常時勤務する事はしないということである。趣味で和蘭を育てていた人、蕎麦打ち名人、焼き物名人、この年代は徒党を組んで生きないと力を発揮できないという事である。集まって話が始まると長時間に及ぶ。5万円を稼げば月2回のゴルフと1回の飲み会には充分である。本年は次のステップとして、農地を無料借入出来たので協同作業場を作ろうという事で進んでいる。フランス料理の得意な元シェフにこだわりの料理を作らせ皆で会食もまた楽しい事かもしれない。老人の夢を作ろう、ただ漫然と生きるのではなく。

この動きの中で、感謝されている事がある。それはボランティアでも地域貢献でもなく、親父に比べてずっと社会性のある奥様方からの感謝の言葉である。男とは真に不思議な生き物である。最後まで仕事をし、生きるしか出来ないのかもしれない。

思い出

豊田治司 (20C)



検見川台に地を占めて無線の塔を仰ぎ見て通学した5年間、4年間は勉学に後の1年は船橋の軍需工場に動員されての労働でした。田舎の更科村より12kmの自転車で次に京成電車で検見川駅八坂神社を左に見て上り、国鉄の踏切を渡り1kmで学校に着く。当時は国鉄の検見川駅は無く、数件の農家と畑だけで西側は富士山と無線の塔、南側は遠く稲毛のアルコール工場の煙突が見えるだけ、校庭だけが広く400mのトラックが4ヶ分もとれる広さでした。部活動に陸上競技とライダーなどで楽しんでいる時に、校庭と畑の間にあったヤブ谷間の上をアメリカの偵察機が単機で東京方面に飛び去ったのを今でも思い出します。奇しくも私の誕生日4月18日、景山先生の数学の時間でした。

3年生の夏期に国民体育大会に県代表として参加しました。3年生1人、4年生1人あとの8人は5年生でした。当時は全国大会を開催できるだけの施設は、関東では神宮競技場を中心にした東京だけでした。昭和18年度23回大会は大阪でした。奈良県の橿原神宮に選手一同集合し、挨拶したのが時の総理大臣、東條英機陸軍大将でした。千葉工の選手が走ったのは、今の阪神競馬場で馬並みに砂場を手榴弾投げ、障害物競走、それも銃剣を身につけてキャハンを巻いて地下足袋で走ったものです。軍装に装備して10kmのマラソンです、5人1組揃ってゴールインするのです。何位になったか覚えておりません。千葉県の選手宿舎は道頓堀沿いの一二三旅館でした。毎朝甲子園野球場を見て阪神競馬場に向かいました。戦争も激しくなり国民体育大会は中止となりました。

4年生になると、夏期の終わり頃に1週間の軍事野外教練があります。軽井沢高原の地

蔵ヶ原で、途中40km行軍で千曲川沿いに6泊7日廠営訓練です。陸軍の払い下げ品三八式銃を装備して、実際に空砲を1人15発宛と野外演習をやりました。原野の中で打った後の葉莢拾いが大変でした。銃は4年生以上に1人一丁宛渡る程ありました。

5年生になると軍需工場に学徒動員で働くことになり、船橋にあった日本建鉄で飛行機の部品作りでした。工場は焼けませんでしたが、近所の畑に焼夷弾が多数落下しました。その中の不発弾を拾い田舎の田圃の中で発火テストを行ったところ、10m四方に広がって相当な威力がありました。

65年前の事が思い出されました。今では82歳となり、健康で元気で活動できることは、千葉工時代の運動のおかげだと思います。

「千工会館」のプレート紹介

表紙の写真(左側)の看板を説明するプレートが千工会館の玄関にあります。

「千工会館」について

昭和46年8月に竣工した生徒会館が、財団法人千工会の御支援により、平成20年8月に全面的に改修され、素晴らしい施設に生まれ変わりました。

この改修を機に生徒会館の愛称を、「千工会館」とさせていただきます。生徒のみならず、PTA、同窓会等本校関係者にも有効活用されることを期待してのものです。

看板「千工会館」は、同窓会会長 財団法人千工会理事長として、23年の長きにわたり御貢献いただいた安藤信吉氏の揮毫による千葉工業同窓会報の題字を基に同窓会事務局 長嶋孝雄先生が製作を担当し、ここに完成したものです。

なお、看板の檜材は、昭和23年電気科卒の中務 二氏より寄贈されたものです。

平成20年12月

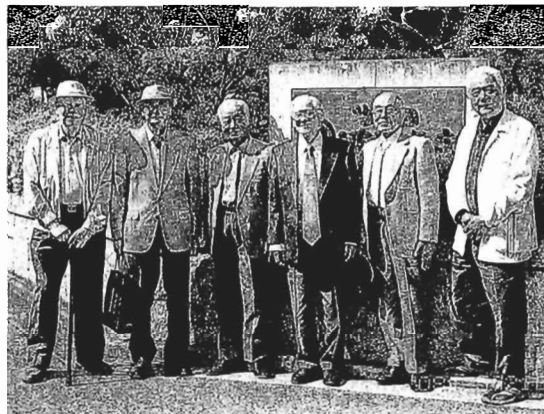
校長 関谷 守 撰

18Mクラス会

小川文哉(18M)

平成20年のクラス会は、5月21日晴天に恵まれ、JR千葉駅前波奈本店に同窓会長の同意出席を得て合計6名で実施することが出来ました。開会に先立ち3月に亡くなられた叶茂光君に全員で黙祷を捧げました。時世句は「特攻に孫曾孫ある麗(ウツ)かな」でした。生前岡本ゴム株式会社社長でクラス会では大変お世話になりましたが残念です。続いて私の発声で乾杯しなごやかに開会となりました。宮内会長より今後の運営について、母校で行われる同窓祭に出られない先輩達との交流も大切だと思うから、出来るだけ継続出来るよう配慮する旨の激励を頂き今後の運営に明るい見通しを得ました。宴会では、次々に出される料理やビールの他新潟の美酒に皆顔面紅潮。童心に返っての歓談に2時間半はあっという間に過ぎました。命の洗濯で皆さん若返った様子でした。宴会の後、店の玄関前で記念撮影をして再会を約して解散となりました。

私たちのクラス会は、最初の頃は恩師櫛田先生或いは舟橋先生のご自宅を訪問して、不定期に実施されてきました。その後、平成3年7月に島根龍順君の藍綬褒章受賞記念祝賀会兼クラス会を行い17名が参加しました。その時がたぶん最大で、クラス員の状況は連絡先の判明した人35名、物故者9名、消息不明6名、合計50名でした。それからは毎年1回以上のクラス会を実施していましたが、平成13年に幹事で会場貸与者浅野浩司君が急逝されて中止となり、クラス会代表幹事の巨星・岡村務君が平成15年惜しくも病死されました。クラス会は思案の末に大木昭治、中山正巳、宮間俊多、小川文哉の4名が分担し継続することになり、卒業60周年記念のクラス会も開催しました。現在は、参加可能な者6名、参加出来ない者8名、消息不明者8名、物故者28名、合計50名となりました。



満鉄先生(林圭吾先生)に感謝

秋元 隆司(37E)

平成20年9月10日(水)に、昭和37年電気科(定)第9回卒業生の宿泊同窓会を、国民宿舎サンライズ九十九里で行いました。

66歳を迎える年齢から、平日でも出席してくれるものと思いましたが、まだ一線で活躍している人が多く、また、親の介護、健康が優れないなど、出席者は12名と前回(平成14年)の約半分でした。初の宿泊で出席者は和気藹々、ゆっくり懇親することが出来たと喜ばれましたが、幹事としては日取りなどが反省点となりました。また、卒業以来、約5年のサイクルで同窓会を行ってきましたが、年齢を考えると今後は2年毎にやりたいとの意見でした。

われわれの時代は、高度経済成長の真只中、そしてバブルの崩壊と、激動の時代でしたが、今思えば実力を発揮できる時代でした。ハングリーの時代に育った同窓生は自ら事業を起こした人が多く、そこには現代の浪費家でなく実業家の顔がありました。

恩師は満鉄先生こと林圭吾先生、今は故人となりましたが、師は授業の合間に満州鉄道時代の話をよくしてくれました。師は清貧を旨とし、朴訥で、ひたむき、生徒の面倒を一生懸命にみてくれました。今思っても頭の下がる思いです。このことがクラスの強い結びつきとなっています。

クラス会だより

師のご冥福を祈るとともに、教えていただいた先生、先輩に感謝し、我々の時代の努力を若い人達が引継ぎ、頑張ってくれることを願いつつ報告させていただきます。

(在学当時、林圭吾先生のお名前は林公一先生でした)

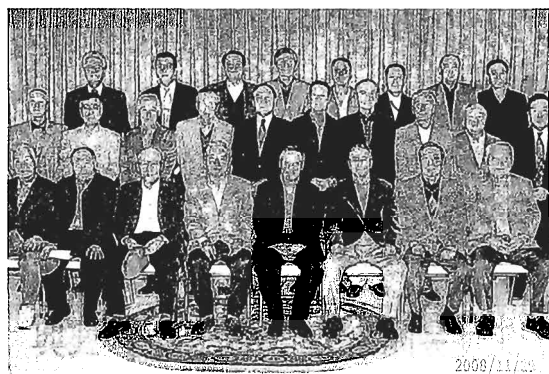


37M-Bクラス会

松崎文男(37M)

師走前の11月29日(土)卒業後2回目となるクラス会が、千葉市「ほてい家」にて行われた。千葉市在住の南波・宮間・鈴木氏幹事による綿密な前準備と役割分担により、遠くは浜松、宇都宮、相模、藤枝等から28名と多数の出席者であった。受付ロビーは46年ぶりのお互いの変貌と名前確認で騒然状態になった。写真撮影後、会場に移動し、宮間氏の司会挨拶から始まり、屋代先生を含め5名物故者への黙祷でご冥福を祈った。開会挨拶は、今回の65歳節目の同窓会提案者の日暮氏、乾杯の音頭は鈴木氏であった。多人数の為、各自の近況報告は1分半とされたが、懐かしさから、とてとても1分半に押さえきれず時間超過続出で盛り上がり、司会者大忙しとなった。就職後、定年迄勤務の人、再就職の人、進路変更し先生になった人、会社を起こし社長の人、日本全国、外国を相手に飛び回った人、様々な人生を歩み活動活躍されたエピソード等は同級生として誇らしく楽し

く聞くことができ、悠々自適の人、現役で働いている人、それぞれの分野で大活躍されてきた様子が、近況報告で伺い知れた。「さすが千葉工業！」と何人もの感想であった。スピーチの合間に出席できなかった人の近況報告と5名の連絡不明者紹介があった。5名とも判明せずに残念であった。歓談の中、テンションが最高潮になった時、ブラスバンド部員であった島崎氏のリードで校歌斉唱に入った。終りの挨拶と次回幹事の提案が南波氏からあり、拍手で承認され、次回幹事は市原市在住グループとなった。お土産を手にとり会場を出たが、殆どの人が2次会に流れて行った。幹事さんありがとうございました。



34同期・美術展見学レポート

34Mが中心となった同期の皆さんから、同窓会事務局に「美術展めぐり」のレポートが届きました。国立新美術館の「日本アンデパンダン展」に出展された藤平 肇さん(34M)の作品の見学(H20.3.27)に、同期生13名が集まりました。そして、ギャラリーくぼたで開催された「日立OB美術展」の川島 肇さん(34M)の作品を見学(H20.4.3)に同期生14名が集合しました。この34Mには2人の画伯がいるのです。力作の作品と見学後の散策の様子がレポートされています。

千葉工業この一年

創立記念講演会

平成20年5月8日、第13代校長 渡辺貞雄先生を講師に迎え「平成20年度 創立記念講演会」を開催した。「まず夢をもって」を演題に、生徒へのメッセージを「君待橋」の石碑の由来や「盆栽」をテーマにお話をされた。当日は、同窓生や多数のご来賓をお迎えしての講演会になった。(電気科 島貫 輝 61E)



母校体育館で講演する 渡辺貞雄 元校長

生徒会館改装工事完成披露式典

平成20年8月5日、昭和46年に建てられた「生徒会館」が大規模な改装工事を終え、完成披露式典を行った。平成元年に、小規模な改修工事を行って以来20年ぶり。

(電気科 島貫 輝 61E)



生徒会役員によるテープカット

ベトナム姉妹校への生徒派遣に参加

平成20年11月9～15日、「海外姉妹校への生徒派遣ならびにベトナムとの高校生等相互交流事業」に参加。団長に関谷校長、教員と生徒5名が参加。母校とハノイ工科短期大学が姉妹校の締結をした。ハノイ工科短期大学では、技術交流として電子回路工作、文化交流としては茶道を披露した。また、京葉工業高校も同行、小学校などを訪問し、自作したおもちゃなどで交流をはかった。

(情報技術科 網代 昭仁)



ハノイ工科短期大学で行われた姉妹校締結

文部科学副大臣視察来校

平成20年12月25日、松野博一 文部科学副大臣が、高校の就職内定状況や、本校の様子などを視察に来校した。



進路指導室を見学する松野議員

定時制サッカー一部全国大会ベスト8進出

平成20年8月8～11日、静岡市 清水ナショナルトレーニングセンターで開催された「第18回全国高等学校定時制通信制サッカー大会」に、地区大会で優勝した部員17名が出場、ベスト8に進出した。2回戦 千葉工 3-2 桃谷(大阪)、3回戦 千葉工 PK勝1-1 博多青松(福岡)、4回戦 千葉工 1-2 刈谷東(愛知)。

(定時制の課程 総務・進路部 竹内由一)



全国大会が開催された会場前で

高校生ものづくりコンテスト旋盤全国大会

平成20年11月2・3日、大阪府東大阪高等技術専門学校を会場に、全国工業高等学校長協会主催「第8回高校生ものづくりコンテスト全国大会」旋盤作業部門に出場。千葉県大会・関東大会で優勝した電子機械科3年荒井 淳平君準優勝した同 田畑 健司君が出場し健闘した。荒井君は7位、田畑君は9位。

(電子機械科 旋盤愛好会顧問 葺輪 誠)



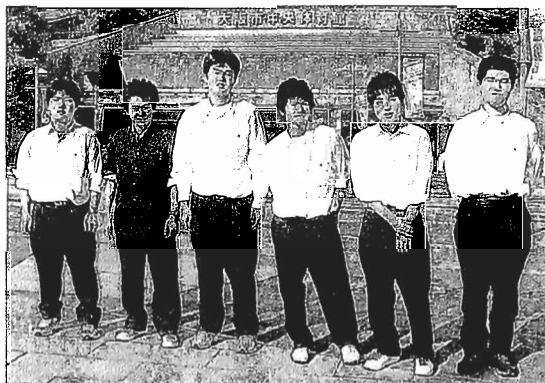
トロフィーを手にした選手

ロボット相撲全国大会に連続出場

平成20年11月2日、大阪市中央体育館で開催された「第16回高校生ロボット相撲全国大会」に機械発明創作部生徒3名が出場。電気科2年 結城耕平君が自立型でベスト8、電子機械科3年 桑江哲也君・濱田貴人君がラジコン型で健闘したが2回戦で敗退。この大会で、技術的に最も優れたロボットに贈られる「経済産業大臣賞」を桑江君が受賞した。

平成20年12月21日、東京 両国国技館で開催された「第20回全日本ロボット相撲全国大会」に同部員 大塚隆寛君・結城耕平君・桑江哲也君・濱田貴人君・稲留優一君の5名がラジコン型に出場。大塚君と桑江君がベスト16になった。

(機械発明創作部 藤沢宏有)



高校生大会が開催された大阪の会場前で

第25回総合技術コンクール2部門で優勝

平成20年11月26日、茂原樟陽高校(茂原農業と茂原工業の合併)で「第25回総合技術コンクール」が開催され10部門に県内工業高校8校から約180名の選手が参加。電気工事部門で電気科2年 三幣君が優勝。ロボット相撲部門で電気科2年 結城君が優勝しそれぞれ知事賞を受賞した。また、電気工事部門・化学分析部門で教育長賞(学校表彰)を受賞した。

(電気科 島貫 輝 61E)

中学生 工業技術講演会

平成20年8月21日、母校 食堂・前庭で、学校見学会に来校した中学生を対象に、出光興産千葉製油所人事課長田中様・同新規事業推進室担当課長吉田様による工業技術講演会を開催。中学生41名・保護者13名が参加。燃料電池自動車・水素自動車の技術講習と乗車体験、工業高校で学ぶ意義などの話をいただいた。

(工業化学科 伊豆丸 千鶴雄)

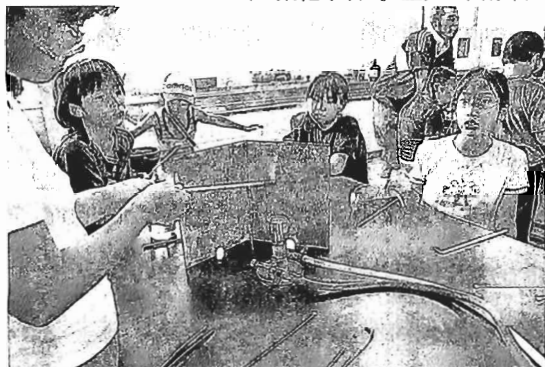


前庭で水素自動車に試乗

小学生ガラス作り体験教室

平成20年8月19日・20日、母校 工業化学科実習室で、千葉市内の小学校20校 応募者144名の中から選ばれた生徒21名と、保護者7名が参加し、色ガラスづくりと七宝焼き・トンボ玉づくりを体験した。指導にあたったのは工業化学科生徒1・2年生8名と教員4名。

(工業化学科 伊豆丸 千鶴雄)



ガラス作りを体験する小学生たち

インターンシップに2年生全員参加

平成20年11月12～14日の3日間、2年生187名がインターンシップに参加した。お世話になったのは、県内の企業81社。キャリア教育や進路選択の意識高揚を図ることができた。期間中、職員による生徒の様子見学や担当者へのご挨拶をさせていただいた。

このほか、「ものづくり工業高校人材育成企業長期研修」もおこなった。

(情報技術科 相澤 秀光)

他校で活躍するOB先生

母校を卒業後、県内の工業高校で活躍する同窓生を紹介します。

今回は、千葉県立茂原樟陽高校に勤務する3人です。秋葉朋幸 59E 石塚 雅 H2E 下村 裕史 63C、各先生方は、母校から離れていますが、日々のご活躍を期待しています。(茂原樟陽高校は、茂原農業高校と茂原工業高校が合併してできた学校。工業科の校舎は、元の茂原工業校舎を利用)



校門前にて左から 秋葉・石塚・下村先生

母校ホームページ

母校の学校行事・部活動などの最新情報が豊富に掲載されています。

同窓会報 16・17・18・19号も掲載

<http://www.chiba-c.ed.jp/chiba-th/>

平成20年度進路状況

就職内定者数84人(求人1027社)

工業化学科 D I C (3)、J F Eテクノロジーサーチ(2)、協和発酵ケミカル(2)、ミズレック(2)、コスモペトロサービス(2)、大日本除虫菊、住友化学、旭化成ケミカル、東都化成、J F Eスチール、出光興産、富士石油、コスモ石油、J S R、丸一鋼管、東レ・ダウコーニング、日本ペイント、新日本製鐵、関東天然瓦斯開発、三井化学、緑化学研究所、住友大阪セメント、以上28名。 **電子機械科** 東京電力(5)、住友重機械工業(2)、セイコーインスツルメンツ(2)、東日本旅客鉄道(2)、いすゞマリン製造、日産自動車、富士サッシ、チッソ石油化学、東海旅客鉄道、キヤノン、宇部興産、T D K、新日本製鐵、日立産機システム、住友化学、古河電気工業、不二ライトメタル、J F E鋼管、旭硝子、高田工業所、新興プランテック、山九、伊藤園、旭興産、以上31名。 **電気科** 小峯電業、富士電気アドハンステクノロジー、東電工業、宇部興産、田辺工業、キヤノン、関電工、東京電力、朋和産業、T E C、丸善石油化学、コスモエンジニアリング、南明興産、京成電設工業、京葉臨海鉄道、大和鋼帯、昭永電設、電気化学工業、以上18名。 **情報技術科** 新日本製鐵、共栄プラント、イヌイシステムズ、東京地下鉄、林時計工業、三井造船千葉機工エンジニアリング、ヴィ・ド・フランス、以上7名。

進学内定 大学・短大63人 専門学校17人

千葉工業大学(24)、日本大学(10)、東京電気大学(6)、芝浦工業大学(3)、淑徳大学(2)、東京理科大学、国士舘大学、東京家政学院大学、敬愛大学、千葉商科大学、東京交通短期大学、ものづくり大学、湘南工科大学、目白大学、清和大学、城西国際大学、千葉職業能力開発短期大学校(7)、以上63名。

日本電子専門学校(5)、パリ総合美容専門

学校(2)、山王看護専門学校、東京自動車大学校、千葉県自動車総合大学校、日本工学院八王子専門学校、東京デザイン専門学校、E S Pギタークラフト・アカデミー、国際理工専門学校、国際航空専門学校、千葉県自動車大学校、東京 I T 会計法律専門学校、以上17名。(情報技術科 進路指導部 清水 敏明)

その他学校行事

サイバー犯罪対策講話(7月15日)

「インターネットの現状と対策」と題し、サイバー犯罪についての講話を行った。

学校説明会・見学会(8月21日)

中学3年生519名が参加。学校概要・工業科・実習内容・進路状況・入試情報・部活動の説明。また、各工業科の実習室や各施設を見学した。

千葉市中学校初任者研修(9月16日)

新しく中学校の先生になった方の研修を、母校で実施した。職業高校の教育内容や、実習を体験、工業高校の理解を深めた。

体験入学(9月27日)

平成20年度体験入学を実施。参加者は中学生225名、保護者・引率者50名の合計275名。工業各科で、旋盤の操作・電子工作・化学実験などの体験をした。

企業技術者による授業(11月17日)

工業化学科2年生を対象に、出光興産株式会社千葉製油所の技術者の方をお迎えし、化学プラントの安全管理や基本操作を学んだ。

産業界・工業高校交流会(12月12日)

企業との交流会をとおして、ものづくりについて関心を持ち、学びと社会のつながりを理解することで、学習意欲を高めることを目的に、2年生を対象に実施された。

人権講演会(12月18日)

「いよいよ始まる裁判員制度」と題して、千葉地方検察庁から検事をお迎えし、裁判員制度についてお話しをしていただいた。

校歌三様

住田敏和(31E)

過去から現在まで、母校には三つの校歌があります。それぞれが大変素晴らしく、いずれも他校に誇れるものですが、今回スペースを頂いたので、私が調べた事を書いて見ました。

検見川校歌は、昭和14年、寒川校舎から移転して「千葉県立千葉工業学校」となった時に定められたもので、数々の軍歌や流行歌の作詞で知られる、広島出身の「大木惇夫」の詞に、山田耕作の一番弟子だったといわれる「乗松昭博」が曲を付けたものです。

詞は、正に戦時中そのものといった感じですが、曲は、行進曲風でありながら、16小節のなかで、6小節目だけが4拍子、全体は3拍子という特異なもので、戦時中とは思えない程、情緒溢れるものです。

4拍子の部分は「検見川台に地を占めて」の「ワ〜ダイ〜ニ」の部分ですが、ここにシンコペーションを付け、歌が一瞬ステップを踏む様なアクセントを付けています。

諸兄の中には、無意識に全体を4拍子で歌っている方もいらっしゃるのではないかと思います。オリジナルの3拍子で歌うと、また違った味が出るのではないのでしょうか。

4番の歌詞には、線路を越えた向こうに立っていた「逓信省検見川送信所」の鉄塔が「無線の塔を高空に〜〜〜」と、読み込まれています。

津田沼校歌は、岡晴夫のデビュー曲「国境の春」や、ヒット曲「長崎の花売り娘」を作詞した「松村又一」と、三橋美智也の大ヒット曲「古城」の作曲者「細川潤一」のコンビで作られました。

お二方とも大変高名な大家なのに、どうして校歌を作って下さったのかと、日頃疑問に思っておりましたが、記念誌「五十年」の中で、故景山校長先生が「初代同窓会長の安藤四郎さんの義兄であった細川潤一氏に作曲

を依頼、その紹介で村松又一氏に作詞を願って」と記されていたので、納得しました。

細川潤一は、長浦中学校の校歌も作曲されていますが「松村・細川」のコンビによるものは、私の調べた限りでは「津田沼校歌が唯一」ではないかと思えます。曲は「これぞマーチ」といった勇壮なもので、リズムが、自然に前へ前へとせり出して行くドライブ感は圧倒的です。少しテンポを速めて歌うと、より一層気分が高揚してくる様に思えます。

生実校歌は、母校の6代目校長「澤田繁二」先生の作詞、「清水 脩」の作曲で作られました。澤田先生は、教育者として著名な方ですが、詩を作るのがお好きだったのか、千葉県内のいくつかの学校の校歌も作詞されています。

作曲の清水 脩は、大阪の寺院の生まれですが、大阪外語大から東京芸大へ進み、後年「日本創作オペラの父」といわれた方です。また「秋刀魚の歌」で有名な「佐藤春夫」の詞に曲を付けた「東京オリンピック賛歌」も良く知られています。

ゆらりゆらりと空間を漂う様な曲想で、8分音符を多用したメロディは、心の中でラテンのリズムを刻みながら歌うと、また違った趣がでるでしょう。

戦争という抗し難い巨大な力や、その他の要因で、苦渋の流転を余儀なくされた母校ですが、今思えば、その事が「我々は校歌を三つも歌うことができる」という喜びに繋がっているのだと言えなくもありません。



同窓祭のクライマックス、校歌三曲

恒例「スーパー竹とんぼ教室」案内

主催 千葉竹とんぼ倶楽部
(千葉工業同窓会)

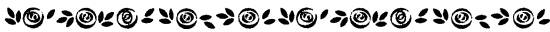
日時 平成21年4月5日(日)9時~11時

場所 県立千葉工業高校 食堂

参加費は無料です

(材料、道具は倶楽部で準備)

今年も、いつものように同窓祭の前に「スーパー竹とんぼの作り方教室」をおこないます。ご家族を含め大勢の皆様のご参加をお待ちしております。今回は参加しやすいように、食堂あるいはプールの周辺を会場にします。



千工吹OB・OG会 第2回演奏会



「千工マーチ」
高らかに...

新春1月25日に
南部青少年セン
ターで開催され
て、名曲から水

戸黄門、ポニョまで見事な演奏でした。



ホッと・ニュース

千葉日報(H20.11.15)の「ピープル」欄に、
平山善吉さん(27C)の写真とエッセー「花
の素顔」出版が紹介されました。



日大名誉教授・元南極観測隊員
平山 善吉さん(74)

長柄町に移り住む約千
年。自宅の庭に咲く九十五種
の花々を捉えた写真や同町
での生活で感じた季節の移ろ
いをエッセーにして「の素
顔」(技報堂出版)として出版
した。

千葉市稲毛区の生まれ。中
学生時代から登山に興味を持
ち、大学入学と同時に登山部
に入部。

日本工科大学教授時代は、
プレハブの開発や公共施設を
設計する。第一の人生を
自然豊かな長柄町に自宅を構
えた。

平山さんは「昔は昔でホ
タルやメダカが自生していた
のに、いつの間にかいなくな
った。この本で、里山の自然
を守る大切さを伝えたい」と
力強く語った。

ピープル

に入門。在学中の一九五六年、
日本の第一次南極観測隊に選
ばれた。

当時未知の領域だった極
寒の地へと三度渡り、日本隊
の基地建設を担当。雄大な自
然に感動して多くの写真を拍
影し、後に写真集「南極」同
社も出版した。

「日本山岳会」に入会し、
九五五年には日本大学の緑隊
長としてエベレスト遠征に参
加した経験もある。

自宅に咲く花95種を紹介

同窓会幹事会の開催

通常幹事会を開催します。幹事(各クラス
から選出、各地域支部から推薦)と常任幹事
はご参集ください。

日時： 平成21年5月17日(日)
14:00 ~ 16:00

会場： 千葉工業高等学校 会議室
(本館2階)

議事： 会務報告・会務計画・他

各地域支部定期総会開催予定

支部名	地 域	
	開催月日	開催場所
南 総	君津地域4市、安房郡市	
	3月15日(日)	木更津市民会館
外 房	東金、山武、大網、茂原、長生、夷隅	
	4月12日(日)	東金・八鶴亭
千葉市西	美浜区、花見川区、稲毛区	
	4月18日(土)	プラザ菜の花
京 葉	船橋、習志野、鎌ヶ谷、八千代	
	5月10日(日)	玉川旅館
市原市	市原市全域	
	5月24日(日)	サンプラザ市原
北 総	成田、佐倉、四街道、八街、印西、香取	
	5月31日(日)	メルキュールホテル成田
東 葛	市川、浦安、松戸、柏、我孫子、県外	
	6月14日(日)	我孫子・鈴木屋本館
千葉市東	若葉区、緑区	
	6月21日(日)	プラザ菜の花
千葉市中	中央区全域	
	7月12日(日)	プラザ菜の花

*いずれの会場も、午後1時半受付の予定です。

第24回「同窓祭」開催のご案内

桜花の咲き誇る生実へお集まりください。
懐かしい顔を共有し、久しぶりの出会いのために母校への坂道を登ってください。

今回はどんな企画が用意されているでしょうか。「スーパー竹とんぼ教室」も開催します。懐かしい恩師の先生方も大勢お見えになります。クラスメートはもとより、仲間を誘い合っただけの参加を期待します。

参加は、同封の振込用紙の「出席」に○をつけて、会費及び同窓会報基金を3月15日までに送金願います。また、その近くにならないと都合がつかない場合は、当日会場で受付致します。その後の同窓会報基金の振込は、いつでも何口でも歓迎致します。

日時 4月5日(日) 11:30~14:30

会場 千葉工業高等学校 食堂

会費 1,000円(振込用紙にて)

- ・卒業5年以内の同窓生と、ご家族のうち18才未満の方は無料です。
- ・喜寿のお祝いを予定しています。生年月日の記入をお忘れなくお願いします。

編集後記

同窓会報 20号をお届けすることが出来ました。20号までの道のりを思い、歴代の役員、編集委員の皆さんに改めて敬意を表します。

「米国初の世界同時不況」による激変は、編集作業に着手した秋以降に始まりました。同窓の皆さんの身边にも少なからず影響が出ていると思います。こんな時こそ、人の絆、同窓会の真価が問われる場面だと思えます。

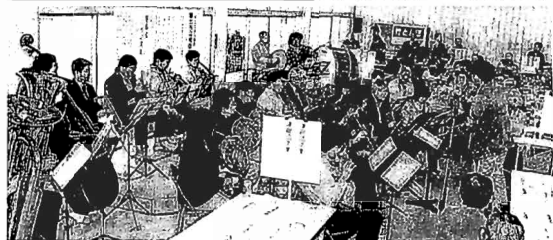
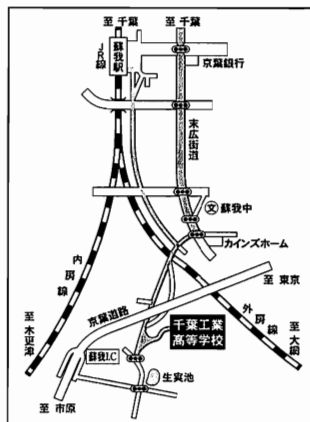
100年に1度の未曾有の、そして新しい責

題字 安藤 信吉 (20M)

千葉工業同窓会報

第20号

JR蘇我駅より徒歩20分、小湊バスは、蘇我駅の東口、末広街道に出て京葉銀行前から乗るのが便利です。



第23回同窓祭の会場スナップ・・・チョイナ節、段木先生の笑顔、そして吹奏楽部OB

任の時代を迎えるわけですが、いっしょに苦勞し、頑張っていきたいものです。

12名の広報編集委員は、全員が前号と同じメンバー、チームワーク抜群でした。
委員長：長谷川敏一(39M)、副委員長：渡辺武雄(30M)、事務局長：大塚昌男(46E)、委員：関口昌利(30M)、井上誠一(33E)、宇野昭房(34M)、大野繁樹(36M)、松崎文男(37M)、滝口貞一(40E)、橋本勇(42E)、久野博巳(46C)、大橋政孝(54E)

発行日 平成21年3月1日

発行者 千葉工業同窓会 会長 宮内 潔

事務局 〒260-0815

千葉市中央区今井町 1478

千葉県立千葉工業高等学校

TEL 043-264-6251 FAX043-268-5524